

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	2018年												2019年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~2日	6月 ~9日	6月 ~16日	6月 ~23日	6月 ~30日	7月 ~7日	7月 ~14日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	17	24	27	29	31	18 (22)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	15	11	14	10	9	0 (20)	6
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	3	3	2	3	0	0 (1)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	1	7	4	5	7	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	3	1	2	5	1	3	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	0	1	2	2	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	2	0	2	1	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第28週(7月8日~7月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3		1			1	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1				1			
五類全数	8	アメーバ赤痢	1				1			
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1						
		梅毒	3	1				2		
		百日咳	2		1		1			
		麻疹	1							1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第28週 7/8～7/14)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり13.2人と、例年同時期と比べてかなり多くなっています。手足口病は数年おきに比較的大きな流行がみられ、今年は2017年以来の流行となっています。

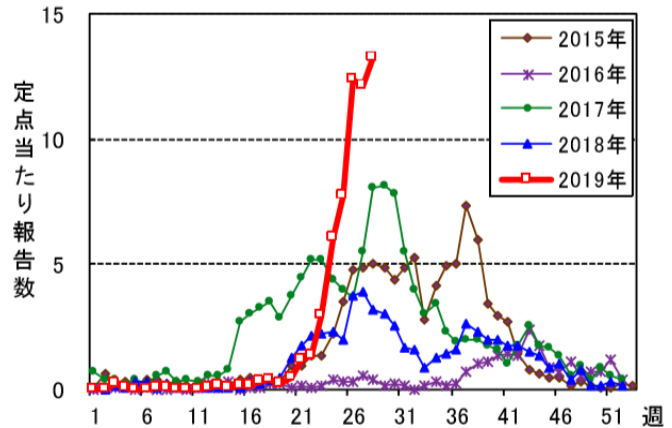
手足口病は、飛沫感染、接触感染、経口感染などで感染します。口の中や手足などに水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症で、回復して症状がなくなった後も2～4週間にわたって便などからウイルスが排泄されます。

感染予防対策として、手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルの共用を避けることなどが重要です。

【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.02			小児科	流行性耳下腺炎	5	0.22	0.78		
小児科	咽頭結膜熱	21	0.91	0.69			小児科	RSウイルス感染症	6	0.26	0.37		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	2.00	2.47			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	125	5.43	4.88			眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	0.85		
	水痘	8	0.35	0.50			眼科	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	304	13.22	3.39			眼科	無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	9	0.39	0.35			基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.14		
	突発性発しん	11	0.48	0.47			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03		
	ヘルパンギーナ	56	2.43	2.30			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	94	女性(70歳代)
4	レジオネラ症	1	15	男性(60歳代)
5	梅毒	2	52	女性(10歳代)、女性(40歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	1	男	2019/06/06	糞便	アデノウイルス2型
その他の発疹性疾患	発熱(39.0) 紅斑 肝機能障害	0	男	2019/06/04	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の発疹性疾患	発熱(40.0) 発疹 口内炎	1	女	2019/06/05	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の発疹性疾患	発熱(39.0) 紅斑 リンパ節腫脹	1	男	2019/06/05	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載